

2022年9月発行

事務局 (公財) 名古屋市みどりの協会

なごや花のまちづくりネットワークだより

NO12

秋の訪れを感じる今日この頃です。今年の夏はいつにも増して暑さが厳しく花壇手入れや、みずやりも大変だったのではないのでしょうか。お疲れ癒してください。「なごや花のまちづくりネットワークだより第12号」をお届けします。

2022年度 活動のご報告



「みどりのカーテンづくり講座」

開催日 5月13日



春の花が満開の戸田川緑地 農業文化園 農業科学館で、「みどりのカーテン」にする「ゴーヤ」の栽培方法、カーテンの仕立て方を、みどりの事業課 川本課長におしえていただきました。

和気あいあいとした雰囲気の中でたくさんの質問も頂き、とても充実した内容になりました。

今年は、ゴーヤの苗の他に「フウセンカズラ」の種もお渡ししました。その後の生育状況はいかがでしょう。厳しかった夏の暑さを、少しでも和らげてくれていたらうれしいです。



「藍染め体験会」

開催日 6月27日・7月26日

はじまりは、いただいた種。まいてみると、あっという間に芽が出て、間引きをしたり植替えたりしているうちに、わさわさとおおきくなり 藍染めへの興味も膨らみせっかくだからやってみたい！と勉強不足のまま、半ば巻き込む形で東山テニスセンターで活動されている「ボタニカルサポーター」と、6月に「たたきぞめ」7月には「生葉染め」をやりました。うまくいくかしら、これでいいのか？と不安な私に「あーでもないね」「こーでもないね」「こうするといいよ！」とサポーターさん達のナイスサポート！

おかげでとても楽しい「藍染め体験会」となりました。ありがとうございました。出来上がった作品の素晴らしいのはもちろんのこと「藍」という植物が、コミュニケーションのツールになる。その体験はとても貴重なものでした。次回はぜひ皆様と一緒に。



「みどりのカーテン」におすすめ

～来年のご参考に～

フウセンカズラ

講習会でもお配りした「フウセンカズラ」ですが、小さく可憐な花や、風船のような実そして種がとても可愛らしいのをご存知でしょうか。小さく黒いまんまるな種にハートの模様がついています。

この種をクラフトに使ったり、実の付いたまま つるを刈り取り、くるっとまとめてリースしたり、「かわいい」が満載です。



セイロンウリ

によろによろ によろによろ 変わった形のこの植物は、「セイロンウリ」です。その実は大きなものだと、1メートル以上にもなり、垂れ下がった姿かたちがまるで「へび」のよう。

面白い見た目からまたの名を「へびウリ」とも呼ぶようですね。

スリランカ原産で、日本には、明治末期に観賞用として持ち込まれたようです。

「個性的な」がうりでしょうか。ウリだけに。(笑)



バタフライピー

バタフライピー（ちょうまめ）は、マメ科のつる性のハーブの仲間です。暑さにとても強く、真夏でもつるを、ぐんぐん伸ばし、たくさんの花を咲かせてくれます。その花色は目が覚めるような鮮やかな青色で、体感温度をぐっとさげてくれそうです。

その花は、ハーブティーにさせていただくこともできるらしく、美容にいいとか何とか・・・

そんな「美意識高い系カーテン」もいいですね。



さて、皆さんの「みどりのカーテン候補」になりそうな植物は、ありましたか？他にも「私の推し候補」がありましたら、ぜひ教えてくださいね。

秋の活動のお知らせ

そろそろ秋のガーデニングシーズンが待ち遠しくなってきた会員様、お待たせいたしました。秋の活動のお知らせです。

秋は来年の春の花壇の準備の時でもありますね。

皆様と一緒に来年の花壇を彩る花の「たねだんご」を作りたいとおもいます。

詳しくは「花ネット活動案内」参加募集用紙をご確認ください。

お会いできるのを楽しみにしております。是非ご参加ください。